

あそぼう

人と人、
人と社会をつなぐ

vol.
110





令和4年7月31日発行
育成会ノート



目次

- P2 ▶ SHOWN Card 子ども会をもっと楽しもう!
- P3 ▶ 兵庫県内ブロック・市町子連事務局一覧
- P4~5 ▶ 令和3年度「助成事業報告」
「安全共済会 事故状況調査報告書」
- P6 ▶ 兵庫県立図書館より
- P7 ▶ 兵庫県ユニセフ協会より
- P8 ▶ SHOWN Card 特典〈キッズニア甲子園〉

子ども会の皆さまへ
このノートは

-  **かならず読んでください**
-  **日常活動で活かしてください**
-  **ファイルに残してください**
-  **各戸回覧してください**



SHOWN Card

で

子ども会をもっと楽しもう!

子ども会育成カード 【カードの発行について】

- 2018年度より近畿地区子ども会連絡協議会に所属している滋賀県(S) 兵庫県(H) 大阪府(O) 和歌山県(W) 奈良県(N)の各府県子ども会連合組織傘下の単位子ども会に無償発行しています。
- 発行年度に関係なくいつでもご利用が可能です。



カードの利用方法や特色などについて



- 1 近畿地区で活動を行う単位子ども会であることを証明するものです。
- 2 子ども会活動に協賛いただいている近畿各地の様々な施設(団体)にてカードを提示すれば入場料の割引など、各種優待サービスを受けることができます。
(事前予約が必要な施設では、ご予約時に近畿地区の単位子ども会であることを伝えて予約し、利用当日にカードをご提示ください)
- 3 近畿地区子ども会連絡協議会で行う「合同イベント」の際に、コードをご提示いただくと様々な特典が受けられます。特典が受けられるイベントについては随時チラシやメール、或いはHPにてお知らせいたします。
- 4 原則として各単位子ども会に1枚のカード発行となりますが、大人数の場合や特別な事情により複数枚のカードを必要の場合は、各市町子連事務局へご連絡願います。
- 5 このカードは、他団体への譲渡や貸与はできません。管理・取り扱いには充分ご注意ください。
(万一、紛失等があれば各市町子連事務局へご連絡ください)
- 6 協賛施設(団体)及び各優待サービスについては、近畿地区子ども会連絡協議会のHPサイト(<https://www.kinki-kodomokai.com/>)で確認することができます。
- 7 万一子ども会活動を休止する場合には、各市町子連事務局にカードをご返却いただくようお願いします。

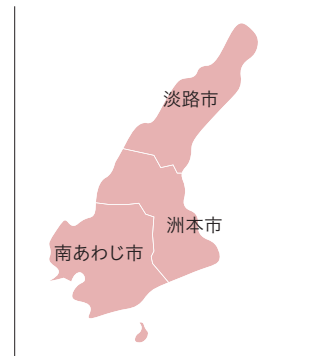


※カードにも記載あり

**子ども会育成カードを使って、
より楽しく有意義な子ども会活動が展開されることを期待しています。**

兵庫県内ブロック・市町子連事務局一覧

子ども会活動についてのお問い合わせは
各市町子連事務局へ！



阪神ブロック子ども会連絡協議会

0797-83-3138

- 尼崎市子ども会連絡協議会 06-6489-6937
- 西宮市子ども会協議会 0798-31-5413
- 芦屋市子ども会連絡協議会 0797-38-2110
- 伊丹市子ども会連絡協議会 070-1809-6182
- 川西市子ども会連絡協議会 072-740-1244
- 三田市子ども会連絡協議会 079-559-5117
- 猪名川町子ども会連絡協議会 072-767-6236

東播磨地区子ども会連絡協議会

079-421-9105

- 明石市連合子ども会育成連絡協議会 078-918-5057
- 加古川市少年団指導者協議会 079-422-8188
- 稲美町子ども会育成協議会 079-492-2340
- 播磨町子ども会育成連絡協議会 079-435-0565

北播磨地区子ども会連絡協議会

0795-42-9352

- 西脇市子ども会指導者連絡協議会 0795-22-4000
- 三木市子ども会育成連絡協議会 0794-82-2000
- 小野市子ども会連絡協議会 0794-63-2445
- 加西市子ども会育成連絡協議会 0790-42-3723
- 加東市子ども会育成連絡協議会 0795-42-2600
- 多可町子ども会育成連絡協議会 0795-32-2385

中播磨子ども会連絡協議会

079-281-9198

- 姫路市子ども会連合会 079-221-2792
- 神河町子ども会連絡協議会 0790-34-0212
- 市川町子ども会育成会 0790-26-0001
- 福崎町子ども会指導者連絡協議会 0790-22-3755

西播磨子ども会連絡協議会

0791-58-2129

- たつの市連合子ども会 0791-64-3180
- 赤穂市子ども会指導者連絡協議会 0791-43-6858
- 宍粟市子ども会連絡協議会 0790-63-3117
- 太子町子ども会連絡協議会 079-277-1017
- 上郡町子ども会連絡協議会 0791-52-2910
- 佐用町子ども会連絡協議会 0790-82-0661

但馬地区子ども会育成連絡協議会

0796-26-3647

- 豊岡市子ども会連絡協議会 0796-23-0341
- 養父市子ども会育成連絡協議会 079-664-0282
- 朝来市子ども会連絡協議会 079-672-0440
- 香美町子ども会育成連絡協議会 0796-94-0101
- 新温泉町子ども会育成連絡協議会 0796-82-4339

丹波ブロック子ども会連絡協議会

0795-72-5168

- 丹波篠山市子ども会連絡協議会 079-552-5769
- 丹波市子ども会育成協議会 0795-82-0409

淡路ブロック子ども会連絡協議会

0799-26-2150

- 洲本市子ども会連絡協議会 0799-24-7631
- 淡路市子ども会連絡協議会 0799-64-2520
- 南あわじ市子ども会育成連絡協議会 0799-43-5234

高砂市子ども会育成連絡協議会

079-443-9067



兵庫県子ども会連合会では、より活発な子ども会活動のための支援を行っています。

子どもの手による子ども会づくり

[32団体 総額907,180円]

単位子ども会で取り組む行事活動のいくつかを、子どもたちによって計画、実施していくための支援を行いました。

ブロック子連	支援団体	合計
阪神ブロック子ども会連絡協議会 251,660円	尼崎市(2団体)、西宮市(2団体)、芦屋市(3団体)、伊丹市(2団体) ※中止なし	9団体
東播磨地区子ども会連絡協議会 150,000円	明石市(3団体)、加古川市(2団体) ※中止1件	5団体
北播磨地区子ども会連絡協議会 60,000円	小野市(1団体)、多可町(1団体) ※中止なし	2団体
中播磨子ども会連絡協議会 180,000円	姫路市(4団体)、市川町(2団体) ※中止1件	6団体
西播磨子ども会連絡協議会 90,000円	たつの市(1団体)、宍粟市(1団体)、太子町(1団体) ※中止2件	3団体
但馬地区子ども会育成連絡協議会 51,000円	朝来市(1団体)、香美町(1団体) ※中止なし	2団体
丹波ブロック子ども会連絡協議会 74,520円	丹波市(3団体) ※中止なし	3団体
淡路ブロック子ども会連絡協議会 50,000円	洲本市(2団体) ※中止なし	2団体

いきいき子ども会

[5団体 総額434,479円]

市・町子連の活性化を視野に入れ、いきいきとした子ども会の推進に向けた事業・活動に取り組む5団体(市・町子連)への支援を行いました。

市・町子連	事業内容	参加者
尼崎市子ども会連絡協議会	いきいきあまっ子リーダースクール事業 「夏キャンプ」	42名
芦屋市子ども会連絡協議会	春のお楽しみバス旅行	22名
市川町子ども会育成会	プログラミング体験教室	18名
養父市子ども会育成連絡協議会	レクリエーション大会 ～やぶりんピックねらえ!やぶギネス～	36名
南あわじ市子ども会育成連絡協議会	①第17回南あわじ市子ども会仲良し将棋大会 ②第9回南あわじ市子ども会仲良しオセロ大会 ③第17回南あわじ市子ども会親善球技大会(中止)	75名

指導者・育成者研修会

[6団体 総額160,000円]

地域の子どもの会活動振興のための指導者・育成者研修会を実施する6団体(ブロック・市町子連)に支援を行いました。

市・町子連	実施日	内容	場所	参加者
高砂市子ども会育成会連絡協議会	3.4.18	スマホの上手な使い方と危険性について	高砂市役所 南庁舎・大会議室	38名
伊丹市子ども会連絡協議会	3.7.9	コロナ禍での子ども会活動	伊丹市立 総合教育センター	35名
稲美町子ども会育成協議会	3.7.24	コロナ禍における子ども会活動について	稲美町コミュニティセンターホール	50名
尼崎市子ども会連絡協議会	3.11.20	地元・尼崎の魅力を再発見!	尼崎市内	18名
芦屋市子ども会連絡協議会	3.11.27	プログラム研修会 (ゲーム研修会)	芦屋市青少年センター・研修室	21名
朝来市子ども会連絡協議会	3.12.18	子どもの手による子ども会づくり研修会	朝来市 和田山体育センター	12名

「安全共済会 事故状況調査報告書」



コロナの影響による活動自粛で例年より事故発生件数はかなり少ないものの、スポーツ中のケガやちょっとした不注意による事故が目立ちます。
準備体操などをしっかり行うことはもちろん、周りの状況にも気を配り安心安全な活動を心がけましょう。



① 事故発生月別

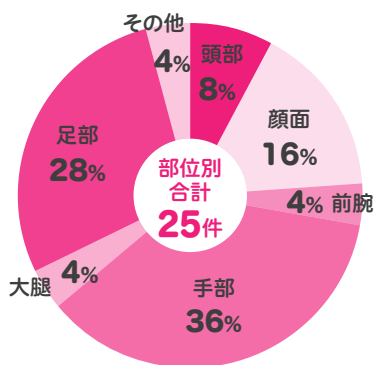
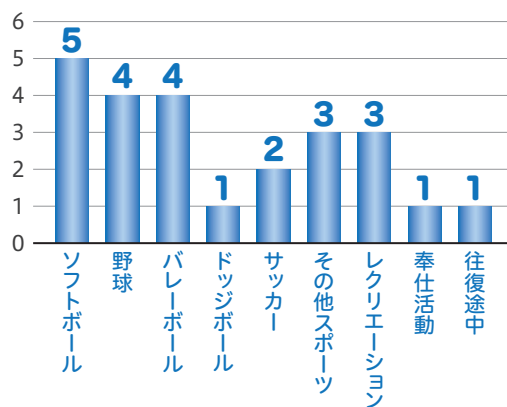
年	令和3年										令和4年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
件数	2	1	0	5	1	0	3	5	5	0	0	2	24	

② 学年別

学年	幼児	小学生						中学生			高校生	指導者 育成者	その他	合計
		1	2	3	4	5	6	1	2	3				
人数	男		1	2	3	4	2					2		14
	女	2			1		1	1		1		4		10
	計	2	0	1	3	3	4	3	1	0	1	0	6	24

③ 行事別

行事	ソフトボール	野球	バレーボール	ドッジボール	サッカー	その他スポーツ	レクリエーション	奉仕活動	往復途中	合計
件数	5	4	4	1	2	3	3	1	1	24



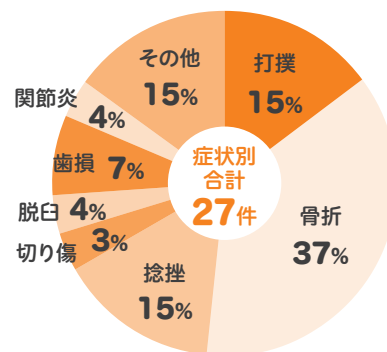
④ 部位別

部位	頭部	顔面	前腕	手部	大腿	足部	その他	合計
件数	2	4	1	9	1	7	1	25



⑤ 症状別

症状	打撲	骨折	捻挫	切り傷	脱臼	歯損	関節炎	その他	合計
件数	4	10	4	1	1	2	1	4	27



※4・5については、1件につき複数の部位、症状の申告もカウントしています。

夏休み。 兵庫県立図書館 へ行こう！



兵庫県立図書館は明石海峡大橋や淡路島を望む県立明石公園の中にあります。66万冊の図書の中から好きな本を片手にゆっくりとした時間を過ごせるほか、周辺には、明石市立文化博物館や天文科学館もあります。子ども向けの楽しい講座や展示も行っていますので、県内各地からのご来館をお待ちしています。



1 読書のススメ

子どもの頃の豊かな読書体験は、知識を得るだけでなく、自ら考える力を養い、想像力、記憶力、表現力等を育み、生きる力の糧となります。子どもたちにはぜひたくさんの本を読んで欲しいと願いますが、「本を読みなさい」と押しつけると、かえって子どもたちの“本嫌い”を加速させかねません。子どもたちに“本好き”になってもらうには、読書の楽しさを周りの大人たちがうまく伝えてあげることが必要です。

家族と過ごす時間が多くなる夏休み。お気に入りの絵本をお互いに読み合ったり、好きな物語の世界にどっぷりつかったり、図鑑片手に自然観察にでかけたり・・・大人も一緒に本に親しみ、本を読むって楽しいね、と思える体験をたくさんできれば素敵ですね。図書館で本を選ぶワクワクした気持ちも、ぜひ味わってみてください。

2 親子で参加するおすすめ企画

図書館夏祭り

令和4年8月20日(土)
10:00~15:00



- 昆虫博士と一緒に、ヘラクレスオオカブト等、珍しい昆虫に触れてみよう(申込不要)
- メダカのコタロー劇団のプロの声優たちと一緒に、環境保全や生態系について学んでみよう(要申込)
- 海の生き物の缶バッチをつくってみよう(申込不要)

3 新しい発見につながる企画展

兵庫県立図書館では、様々なテーマを設定して図書やパネルの企画展示を実施しています。



現在、11月に兵庫県で開催される第41回全国豊かな海づくり大会にあわせ、古墳時代後期～奈良時代頃のイダコ壺(釣鐘型)やあなご漁の漁具、タイやオニオコゼの模型などを展示した『豊かな海を守る、海と陸のつながり』展(～11/16)を開催しています。

また、明石市立文化博物館の「あんびるやすこ作品展」と連携し、作家のあんびるやすこ氏のサイン本やグッズを展示した『兵庫県立図書館×明石市立文化博物館 絵本の世界』(～9/14)も展示しています。この展示では、あんびるやすこ氏の作品によく登場する魔法、お菓子作り、ドレス、ハーブ、宝石をテーマに取り上げ、関連した絵本や児童書、レシピ本や図鑑等を展示し、お母さんと子どもたちに、好評いただいています。



今後も、100冊を超える「水木しげる漫画大全集」やサイン本、水木しげるが神戸に住んでいた(昭和28年から33年)頃の神戸市の地図等も展示する『水木しげる生誕100周年』(7/22～9/14)等、親子で楽しめる展示を計画しています。

開館時間 9:30～18:00

休館日 毎週月曜日・毎月第3木曜日・年末年始(12月29日～1月3日) 特別整理期間(6月頃 1週間程度)

アクセス JR明石駅、山陽明石駅で下車、北へ800メートル(明石公園内)

当館に専用駐車場はありません。お車でお越しの際は、公園内または近隣にある有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <https://www.library.pref.hyogo.lg.jp>



～子どもたちに伝えたい、 「言っ^ていいよ」～

兵庫県ユニセフ協会より



兵庫県ユニセフ協会

兵庫県ユニセフ協会は、現在全国26の地域にある*協定地域組織の1つで、神戸市東灘区に事務所があります。そこでは、「できる人ができる時にできることを」をモットーに、老若男女、幅広い世代のボランティアさんが活動しています。そして、年間の事業計画などについては広い分野から理事、評議員としてご協力をいただき、会議では(一社)兵庫県子ども会連合会での活動を通じ、今の子どもたちの現状を学ばせていただいています。

県協会での活動は、世界を知る国際理解講座や講演会の開催、学校等への出前学習の講師派遣や広報誌の作成、イベント等での活動紹介等、設立から20年、それぞれ違った関りの中での活動が続いています。その中に、主に高校生・大学生のチーム『ユニーズ』があります。「ボランティアしたい」「子どもが好き」「国際協力に関心がある」……。きっかけはそれぞれ違うけれど、何かしたい思いで集ったユース世代。講師のみなさんや一緒に活動するボランティアさんなど、多様な価値観を持つ人たちとの出会いは、「違い」を知り、自分を創る大切な時間になるのではないのでしょうか。

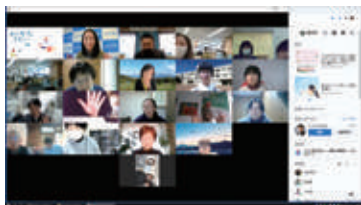
* (公財)日本ユニセフ協会と協定で結ばれ、ネットワークを広げていくために正式に承認された組織。



コロナ禍に全国からオンラインで集まったユース主体のイベント。

自分の言葉

「自分の思いを自分の言葉で話す」こと。そんな人たちが一人でも多くなるようサポートしたい、身近な社会課題から特にそう感じています。もちろん、世界に目を向ければ気候変動、紛争、感染症、貧困、食糧問題等々、数多くの課題があり、大きな無力感に襲われることもあります。しかし、**できないことを嘆くのではなく、自分の周り**にある**できること**の積み重ねが**「平和」をつくることにはつながるのだ**と思っています。



第20回「ユニセフのつどい」は、オンラインでの交流と「子どもがまん中」をテーマの講演など、盛りだくさんの内容。



国際理解講座は、世界の今を知る中で、自分にできることを考える時間。

子どもの権利条約

先日、子ども家庭庁が設置され、そして、児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)の精神に基づくこども基本法が新たに制定されました。これから子どもに関わる諸政策の調整が確実に実施され、子どもと若者の声や意見が政策に反映されるようになることが、子どもの権利がいつそう推進されることにつながると信じています。

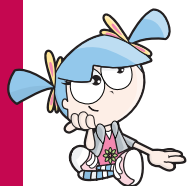


事務所では、トライやるウィークの受け入れを継続して実施。他校の生徒との交流も大切な時間。

SHOWN Card 特典!!



KidZania
Koshien



キッズニア甲子園へ行こう!

キッズニア甲子園は子ども達が職業体験や社会体験にチャレンジし、
楽しみながら働くことの意味や社会のしくみを学ぶことができる「子どもが主役の街」です。
この度、近畿地区子ども会連絡協議会さま限定の特典をご用意させていただきましたので、
ぜひ子ども会行事でご利用ください。
みなさまのご来場を心よりお待ちしております!

近畿地区子ども会連絡協議会様限定
子ども会育成カード特典のご案内

2022年
7月1日(金)
ご来場分
特典スタート!

20名以上の団体予約で

通常 団体予約
子ども15名につき
大人1名無料のところ

大人2名無料!

有効期限 2023年3月31日(金) 来場分まで

※上記特典は来場3週間前までに、子ども会育成カードの両面コピー(FAXまたはメール)が必要となります。

申し込み方法

専用申込フォームでのご予約になりますので、下記お問い合わせの
キッズニア甲子園 団体予約センターまでお電話ください。
※イベント等によりご予約がお受けできない場合もございますので、予めご了承ください。

お問い合わせ

キッズニア甲子園 団体予約センター (平日10:00~18:00)
TEL:0797-33-5489 FAX:0570-06-5048

【住 所】 兵庫県西宮市甲子園八番町1-100 ららぽーと甲子園
【営業時間】 〈第1部〉9:00~15:00 〈第2部〉16:00~21:00
【定休日】 不定休
【アクセス】 阪神電車甲子園駅より南八徒歩14分

キッズニア甲子園

検索 🔍

<http://www.kidzania.jp/koshien>



© KidZania

子どもeye

豪雨や気温の上昇は毎年のように記録を更新し、日本のみならず台風の発生数や規模も想定を超える昨今。地球環境問題への様々な取り組みが行われており、SDGsなどを通して、子どもたちも身近に感じているのではないのでしょうか。3年前「温暖化対策サミット」のスピーチで強く世界に訴えたのも、当時16歳の少女でした。

自分の思いを言葉にするのは簡単ではありませんが、これまでの読書経験もそれを後押しする1つでしょう。心の琴線に触れる本との出会い、そして勇気ある行動をサポートする大人との出会い。子どもたちにはたくさんの実りある出会いを経験してほしいと心から願って「育成会ノートvol.110」をお届けします。